

令和 8 年 3 月 31 日

放課後等デイサービスピースセカンド自己評価結果等の公表 (R8.3 実施)

自己評価結果の検討会議の記録

日時：令和 8 年 3 月 26 日 (木) 14:30-15:00

場所：放課後等デイサービスピースセカンド

参加者：桑原、宮崎、古田、梅原、中山、梶栗（木村、高松、富崎、梶原、高松）

※（ ）の職員は個別で確認。

○事業所全体による自己評価の討議と改善目標設定をした。なお、当日参加できなかった職員には個別で内容を共有し、ヒアリングを行った。結果は以下のとおりである。

1 保護者等による評価と改善目標の設定から

「はい」の回答がほとんどで「いいえ」の回答は少なく、概ね満足に行く利用につながっている。以下、「いいえ」「どちらともいえない」の回答を主に検討会議にて現状共有と改善目標を立てた。

- ・ 1 項目目の「子どもの活動スペース」については、構造上最大限配慮した形を取っているが時間帯によっては、利用者が集中することがある。そのためその子に応じた部屋の配置や空き個室を活用し部屋を分けること、時間帯を調整することの方法を確認している。
- ・ 2 項目目の「職員の配置数」については、基準の人員体制を満たして行っている。保護者との連絡共有を継続して行っていくことを確認した。
- ・ 3 項目目の「バリアフリー化」については、施設の構造上限界があるが、現状の利用者に関しては使用に問題がないことを確認している。車椅子の利用者の想定まではできていない。
- ・ 5 項目目の「活動の固定化」は、個別対応を行っており、利用者の希望により、柔軟に対応をしている。
- ・ 6 項目目の「放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもとの活動する機会があるか」だが、日曜日に農業体験や自然体験、ピースキッチン（料理教室）、法人での企画を行う中で関わりを持っている。
- ・ 7 項目目の支援の内容、利用負担等について丁寧な説明がなされたかについては、利用開始時、利用時、面談時などに行なっている。
- ・ 8 項目目の「発達の状況や課題について共通理解」については、その日の様子や課題点、成長点を確認し支援の方針をお伝えしている。
- ・ 9 項目目の「面談や育児に対する助言」については、希望に応じ面談等を実施しているが、各利用者の希望を反映できるように見直しを行い、実施する。
- ・ 10 項目目の「父母の会の活動の支援」は毎月ハッピーカフェ（座談会）を行っているが、今後も告知して認知を広めている。
- ・ 11 項目目の「子どもや保護者からの苦情について」は、上がった時には迅速に丁寧に対応できる様に努めたい。保護者との状況共有を密に行っていく。
- ・ 12 項目目の「子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか」は、お話をするタイミングの配慮、SNS やオンラインを活用してこれまで以上に共有ができるよう配慮していく。
- ・ 15 項目目については、保護者に周知するなどして、安心して利用いただけるように見直す。
- ・ 16 項目目の「避難訓練」については、火災、風水害、地震についての避難訓練を年 2 回実施している。今回のアンケートで「いいえ」の回答もあったため、訓練実施の際には、様子などを写真と一緒にお便りや SNS などで周知し、安心して利用していただく。

- ・17 項目目の「子どもは通所を楽しみにしているか」については、安心して来所利用ができるよう、今後も個々の発達状況に応じた支援を行う。
- ・18 項目目の「事業所の支援に満足しているか」については、今後も発達状況に応じた支援を行うように努めていく。

2 職員による自己評価と改善目標の設定から

各項目について自己評価を行い以下の点について改善目標を設定した。

- ・「はい」という項目に関しては、引き続き継続できるように確認した。利用者のアンケートと大きな乖離は見られていないため、このまま継続、改善できるところは改善していく。
- ・3 項目目のバリアフリー化については、現在利用者に関しては最低限の不自由なく利用ができていると考える。古くなった設備はメンテナンスしている。今後も環境整備の継続や修繕をしながら子どもたちが安全に過ごせ、支援できる場所を作る。
- ・8 項目目については、内部研修を継続的に行うことで職員のスキルアップを行っている。
- ・22 項目目の「医療的ケア児」については、当事業所では現段階では受け入れ予定はない。
- ・24 項目目については、該当者に対して担当者会議やケース会議などで共有を行っている。今後も対象者が出たときは同じように共有をする。
- ・26 項目目の「障がいのない子どもとの交流」については、法人で行う様々なイベントで行うことができている。実際していることに対して広報していく。
- ・28 項目目については、温度差が生まれないようにコミュニケーションを取っていく。
- ・29 項目目の「ペアレントトレーニング」については、保護者の面談や座談会などは実施している。今後さらにコミュニケーションを密にすることで、保護者が相談しやすい形をつくっていく。
- ・42 項目目の「食物アレルギー」については、食事提供を行っていないが、利用開始の面談の際のアセスメントでも項目を設け確認をしている。
- ・43 項目目の「ヒヤリハット事例集」については施設内で作成をしている。車両事故があったため、再度今後職員会議や研修の中で確認し充実させていく。

今回のアンケート結果で判明した①、②の改善点を職員間で確認共有、検討して、さらなる子どもたちの利益の保証、サービスの提供を実施していくことで確認している。

以上

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表(R8.3.26実施)

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			適切に運営している。今後も継続して取り組む。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			適切に運営している。今後も継続し取り組む。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		構造上バリアフリーには限界はある。運用上の問題はない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎月の職員会議や研修、共有や終礼等が出る課題に対して、課題解決に向けての話し合いを重ねている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			本アンケートや必要に応じた希望調査を行う中で改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所に掲示、ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者委員会を実施して業務改善につなげている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に研修を実施している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用状況や様子の共有、モニタリングや面談を実施して作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員会議や日々のミーティングで確認、実施している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		支援会議で確認し、各利用者のニーズに沿って支援を行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		支援会議で確認し、各利用者のニーズに沿って支援を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		支援会議で確認し、各利用者のニーズに沿って支援を行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			日々会議を行い、前回の利用状況、今回の内容について確認し、実施している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			日々終礼を行い、当日の利用状況や様子の共有、内容について確認し、次回以降の支援に反映し、実施している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の支援に対して記録している。

関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリングや支援会議を実施している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			利用者の状況に合わせた、環境調整を行なっている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			毎回担当者会議に参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			担当者会議や必要に応じて相談、調整を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当者なし。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要に応じて行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			必要に応じて行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修をお願いしたことがある。状況共有など必要に応じて行っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			法人のイベントなどで行っている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎回の送迎時、面談の際に行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	専門的なペアレント・トレーニングの実施はできていないが、個別での面談や相談を適宜行っている。	
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時、必要に応じて個別に行っている。
		31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			適宜面談など実施、相談しやすい環境を心がけている。
		32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			父母の会までではないが、ハッピーカフェ(座談会)など開催をしている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			ケースは多くない。要望等あれば真摯に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			3ヶ月に1回(年4回)おたよりを発行している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			内部研修を行い実施している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			連絡帳やLINEなど、保護者が利用しやすいツールを活用し実施している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			関わりを持ちながら事業運営をしている。	
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			保護者とは契約時に確認している。職員とは会議などで共有している。
		39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回の避難訓練を実施している。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修を行っている。	
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			記載し、利用契約時に確認、了承を得ている。	
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		食事提供なし。	
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		作成し運営をしている。適宜見直し共有しながら行う。	